

# あいな人

いちのせきを愛する人

千厩地域市民劇場「どっから座」で座長を務める菅原正憲さん。街の活性化に役買おうと、2000年の第1回公演から携わり、座長に就任して5年目になる。

初めは、演劇なんてしたことのない素人集団。白紙からスタートした。まずは、10回公演を目標に掲げ、手を取り合った。機材の整った施設がなく、道具も衣装もない中で、かつら一個から手作りした。音響や照明も全て地域住民が担った。藤沢、大東両町民劇場との交流の中で、互いに刺激を受けながら、切磋琢磨して前に進んだ。

今では、「どっから座」の知名度は高まり、千厩地域ではよく知られる劇団になった。毎回楽しみに来てくれる人も多い。千厩地域でこれほど長く続いている文化事業は少ない。「まずは、目標の10回公演を何としてもやり遂げたい」と使命感に燃える。

座名の由来はおもしろい。街でよく、知らない人同士が「どっから来たのっしや？」と声を掛け合う。そこから取った。堅くなく、親しみやすい。劇の原作は、千厩地域に伝わる伝説や昔話に基づいて創作。郷土芸能も織り交ぜるなど、徹底的に地元をこだわった。「見てもらう人に、千厩地域の歴史や文化をわかしてもらえははず」と自信をのぞかせる。

一方で、苦勞も多い。常にキャスト、スタッフ、ボランティアなどの人手不足に頭を痛めている。施設には特に苦勞してきた。前回までは暖房設備のない千厩体育館が会場。ジェットヒーターなどで館内を暖めるが、演劇が始まると音響に配慮して止める。「楽しみにしているけど、寒いのが欠点」と

徹底した地元千厩へのこだわり  
地域の文化や歴史に触れてほしい



千厩地域の住民が作り上げる市民劇場「どっから座」座長

## 菅原正憲さん

Sugawara Masanori 46 自営業 千厩町千厩

言われ続けてきた。そのたび「冷蔵庫のような所で演劇を見るのも楽しみでしょ」と自分を励ました。

昨年3月13日は9回目の公演日だった。その前々日、あの大地震が起きた。本番まであと2日。いよいよだとキャスト・スタッフの気持ちが高ぶってきている中での災害。自然には勝てない。会場は被災し、演劇どころではな

かった。中止を決めた。

今年の公演は3月11日。生涯忘れられない日だ。震災から教わった命の尊さや絆を中止になった昨年の演題にプラスして公演する。入場料は1,000円(中学生以下は無料)。昨年のチケットも使用できる。初めて暖房設備のある千厩農村環境改善センターで、多くの人に元気とやすらぎの時間を提供する。

**Profile** 1965年千厩町生まれ。家業の酒店を継いで25年。街の活性化に協力しようと「どっから座」が設立された2000年から所属。演題、キャスト・スタッフなど徹底的に地元千厩にこだわる。人手不足に頭を痛めながら、裏方に徹する「どっから座」座長。妻、父と3人暮らし。千厩町千厩在住。46歳。



千厩地域市民劇場どっから座第9回公演「新・キツネにだまされた男の話—ギャ〜ンGYA〜N」の台本。人間と動物の共存と命の尊さをテーマに3月11日、千厩農村環境改善センターで初の2回公演を行う。



# Local Station

シリーズ 駅 大船渡線 Vol.02

## 折壁駅

Orikabe\_sta.

## 神々が宿る山に抱かれる駅

市内室根町にある「折壁駅」。旧室根村の中心駅として昭和3年に開業した。「折壁」の地名は県内に4カ所あり、アイヌ語が語源だと言われている。

駅の近くで食料品店を営む小野寺董さん(99)と重男さん(71)が今回の案内人。村の経済・文化の中心だった折壁駅。室根神社特別大祭では多くの人を迎え入れる。董さんは「全盛期は祭りを見る人であふれ、臨時列車が出るにぎわいだった」と当時を語る。

昭和29年まで大船渡線の終着駅として多くの人が行き交った折壁駅も年々利用者は減

少。「終点だった頃が最盛期」と回顧する董さんの表情はどこか寂しげ。重男さんは、同線を含む県内ローカル線が廃線の危機を迎えたとき「岩手ふるさと線を守る会」を立ち上げて活動。「駅前でチラシを配ったことも」と振り返る。

見上げれば室根山。神々が宿る山に抱かれ、四季折々の表情を見せる折壁駅。人々の暮らしを見守ってきた建物は、植木の手入れや雪かきなど自主的に活動する多くの人たちに支えられている。

地域に慕われる駅を出ると上り列車は矢越駅に向かう。



利用する高校生の足が雪に埋もれてかわいそうの思いから雪かきをしています。無人駅になって寂しい限り。自分にできることをやってあげたいです。今では、雪かきとジョギングがいい運動になっています。



菅原武勇さん



左：車窓から望む室根山  
右：雪かきの行き届いたホームと懐かしいたたずまいの待合室

案内人

小野寺董さん(左)・重男さん(右)



来年行われる室根神社特別大祭には、多くの人が訪れ、駅前がにぎわってくれるとうれしいです。今年で100歳。これからも折壁駅を見守っていきます(董さん)。